令和７年度シラバス

教　科	科　　目	単位数	履修学年・クラス
家　庭	家庭基礎	２	２－１、２－Ａ

１．学習の到達目標

・人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的にとらえ、家族・家庭、衣食住、消費や環境など、生活を主体的に営むために必要な理解を図るとともに、それらにかかわる技能を身につけるようにする。また、人権意識を持って生活する力を養う。
・家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定、解決策を構想・実践、考察するなど生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。

２．学習の計画

	学　習　内　容	学　習　の　ね　ら　い
１学期	第１，２章　自分・家族分野 第７章　衣生活分野 【被服実習】エプロン製作	・男女共同参画社会の実現をめざす歩みと社会的背景について理解する ・労働の種類、またその意義について多面的に検討できるようにする ・家庭について学習し、現在の家族の抱える課題などを理解する ・衣服が持つ機能や安全性についての知識を身につける ・衣服材料・衣服整理についての知識を身につける ・実習を通し、衣服管理に必要な基礎縫いの技術を習得させる ・実習を通して、基礎的なミシンの縫製技術・調理技術を身につける
２学期	第６章　食生活分野 【調理実習】①② 第３章　子ども分野 第４章　高齢者分野	・健康で豊かな食生活をはぐくむための気づきや工夫を理解する ・栄養素の種類と働きやそれぞれの栄養素が多く含まれる食品についての基礎的な知識を身につける ・実習を通し、基礎的な調理技術を身につける ・子どもの心身の発達や子どもの生活についての知識を身につける ・子どもの食生活・衣生活、遊びについて理解を深める ・子どもをとりまく状況について、現状を知り、その課題を見つけ、解決できる力を身につける ・高齢者の心身の特徴や生活を客観的に理解する ・社会的な制度・しくみについて理解する
３学期	第９，１０章　消費・経済分野	・消費行動において、意思決定のプロセスが重要であることを認識させ、情報リテラシーを身につける大切さを理解する ・契約、多様な販売方法や支払い方法、問題商法について理解し、被害にあった場合の解決方法についても理解する

３．評価方法・評価の観点

評 価 方 法	考査、提出物、実習への参加など授業態度による

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の内容	人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的にとらえ、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会とのかかわりについて理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などを理解し、それらにかかわる技能を身につける	生涯を見通して、家庭や地域、社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて理論的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている	さまざまな人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとしている

４．使用教科書・副教材

使用教科書	家庭基礎　気づく力　築く未来（実教出版）
副　教　材	なし